

○主訴＝不眠

<前分析>

① 印象＝暗く・重苦しい・湿っぽい。陰々滅滅とした感じ。一緒にいると非常に辛い。

静か。深い孤独感。

② 健康度＝5～6

③ 予後

◎良いレメディが見つかったら・・・

依存心は軽減して自立的になり自発性が増す。不眠症状は解消して、自分に自信が持てるようになり、活動的・行動的に変わる。

◎良いレメディがなかったら・・・

依存心の強さは続き、常に頼りになる誰かを求め続け、人生が停滞する。不眠も続き、不眠と「くよくよ」と自責の念を持ち、泣き続けるという悪循環は続く。

④ 急性か慢性か＝慢性

⑤ 治癒を妨げているもの＝無し

⑥ 親和性(部位)＝精神、鼻、頭部、

⑦ マヤズム傾向＝(Psora か Sycosis)

⑧ 全体性＝1つ

⑨ バイタリティー＝4～5

<分析～特徴的な症状をピックアップして眺めてみる>

◆精神症状

・離婚以来不調が顕著に

・主訴の不眠症状

夜中に起きると興奮して眠れない。

自分を責めて責めて悶々とする。

・母と同じく夫に依存。夫が浮気しても何も言えない。いざという時、楽な方に逃げる。

・私は、宇宙の中で一人ぼっち(＝Delusion)。非常に深い孤独感。

・お金を借りることが出来て、気持ちが少し楽。

・夫に全面依存。現在は、夫の代わりに友人や息子に依存。

・友人との約束をドタキャンしてしまい、それで余計に悶々と悩む。

・クヨクヨするタイプ。人前で、さめざめと泣く。

・友人は誰でも良いわけではなく、自分を慰めてくれる友人を求める。

・夫の次の妻に養育費は払わない方が良いと言われて心はズルむけ状態。

・言っていることとやっていることが違う夫の片棒を担ぐ罪悪感。

・さびしがりで一人は嫌。人に甘えたい。

・抱きしめられると>

・優しい性格

・恥ずかしがり。

◆身体症状

- ・雨で体調<(頭痛と鼻の問題)
- ・喉の渇き少ない
- ・寒がり。だが室内の暑さには耐えられない。

<統合～箇条書きにしてみる>

- ・不眠(主訴)
- ・上記・身体症状
- ・依存(以前は夫とお金に--->現在は息子と友人と実家のお金)
- ・離婚は最悪の選択
- ・誰かに慰めてほしい、抱きしめてほしい。一人では生きて行けない。
- ・自分は、宇宙の中で、ひとりぼっち。

◆試みに簡潔にまとめると・・・

「宇宙の中で一人ぼっちという深い孤独感から、周りの誰かやお金に依存し続けている不眠に苦しむ女性。」

・・・こういうレメディを探す。

以上